

## ■一般目標 (GIO)

咀嚼や発音など顎口腔系が果たす役割を理解するため、口腔や顎顔面を構成する歯や骨、筋、神経、顎関節など諸器官の形態と機能について学修する。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・ 歯列，歯列弓および咬合彎曲を説明できる。
- ・ 頭蓋の骨の構造を説明できる。
- ・ 口腔周囲の筋を説明できる。
- ・ 顎口腔の神経支配を説明できる。
- ・ 顎関節の構造と機能を説明できる。
- ・ 口腔と口蓋の構造を説明できる。
- ・ 唾液腺の役割を説明できる。
- ・ 舌の構造と役割を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 口腔顎顔面解剖学(医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：水曜日 18:50~19:35

■オフィスアワー：今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 木曜日・16:00~17:00

■成績評価：定期試験(80%)と平常試験(20%)を前期と後期の合計で評価する。平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：ノート，教科書，自然歯模型 B-ANA 3A (28S) を持参すること。

■授業方法：スライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を1回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：木内香：歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を基に、歯科臨床に必要な基礎的事項を教えていく。

■関連教科：造形美術学(1年)，顎口腔機能学(1・2年)，口腔顎顔面解剖学実習(1・2年)，口腔顎顔面解剖学演習(1・2年)

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月6日 木内 香	7. 歯列・咬合 1) 歯列 2) 歯列弓 3) 咬合彎曲 (教) pp. 102-104	・ 歯列と歯列弓を説明できる。 ・ 咬合彎曲を列挙できる。 ・ 切歯の咬合関係を説明できる。
第2回 10月13日 木内 香	7. 歯列・咬合 4) 隣在歯との関係 5) 上下歯列弓の位置関係 6) 切歯の咬合関係 7) 歯の植立 (教) pp. 104-109	・ 歯列と歯列弓を説明できる。 ・ 咬合彎曲を列挙できる。 ・ 切歯の咬合関係を説明できる。
第3回 10月20日 木内 香	8. 頭蓋の骨 1) 脳頭蓋骨 (教) pp. 112-117	・ 脳頭蓋骨の構造を説明できる。
第4回 10月27日 木内 香	8. 頭蓋の骨 1) 脳頭蓋骨 (教) pp. 112-120	・ 顎口腔の神経支配を概説できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回 11月10日 木内 香	8. 頭蓋の骨 2) 顔面頭蓋骨 (教) pp. 120-126	・顔面頭蓋骨の構造を説明できる。
第6回 11月17日 木内 香	8. 頭蓋の骨 2) 頭蓋の全景 (教) pp. 127-135	・頭蓋の全景を説明できる。
第7回 11月24日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 1) 浅頭筋 (教) pp. 136-143	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・浅頭筋の位置と機能を説明できる。
第8回 12月1日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 2) 深頭筋 (教) pp. 136-143	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・深頭筋の位置と機能を説明できる。
第9回 12月8日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 3) 舌骨筋群 (教) pp. 136-143	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・舌骨筋群の位置と機能を説明できる。
第10回 12月15日 木内 香	10. 顎関節 1) 顎関節の構造 2) 下顎の運動 (教) pp. 144-147	・顎関節の構造と機能を説明できる。
第11回 12月22日 木内 香	11. 口腔 1) 口腔の隣接器官 2) 口腔 (教) pp. 148-150	・口腔と口蓋の構造を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。
第12回 1月12日 木内 香	11. 口腔 3) 口蓋 4) 唾液腺 (教) pp. 151-152	・口腔と口蓋の構造を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。 ・唾液腺の役割と存在部位を説明できる。
第13回 1月19日 木内 香	11. 口腔 5) 舌 (教) pp. 152-156	・舌の構造と役割を説明できる。
第14回 1月26日 木内 香	11. 口腔 6) 咽頭と喉頭 (教) pp. 157-160	・咽頭と喉頭の構造と役割を説明できる。
第15回 2月9日 木内 香	後期講義のまとめ  「平常試験」①, 解説	・後期講義の内容について、総合的に理解することができる。 ・平常試験と解説を受けることで、知識が不足する項目の理解度を深めることができる。